

EcoDesign 2021

第 12 回 環境調和型設計とインバースマニュファクチャリング に関する国際シンポジウム



開催概要

開催趣旨

地球規模の環境問題解決のために、大量生産・大量廃棄型の社会システムから脱却し、安定した低炭素・循環型社会を構築する必要がある。ある領域の一つの技術革新が問題解決に大きく貢献するであろうというリニア思考のアプローチでは、因果関係が複雑な地球環境問題への対応が既に困難となっている。したがって、俯瞰的視野を有しつつ、異分野の技術や知識を適切に融合することが必要となる。こうした背景から、本シンポジウムでは、目指すべき社会の設計図を描き、そこで必要となる技術や社会技術システムを明らかにした上で個別の技術や政策を融合して対応するシステムズアプローチをベースに議論を重ねてきた。

エコデザイン国際シンポジウムは、1999年の第1回会議開催以来、隔年で国内各地において開催され、世界的に広く認知されるに至っている。2013年の第8回会議を韓国で、2017年の第10回会議を台湾で開催するなど、エコデザインのアジア各国への普及にも貢献している。

第12回となる本シンポジウムは、2021年12月1日～3日の日程でオンラインにて開催する(詳細はホームページ <http://ecodenet.com/ed2021/>)。今回の大会テーマは「EcoDesign with Art, Science and Technology」である。産業側がエコデザインやライフサイクル設計をうまく用意したとしても、受け入れるのは社会であり、そしてそれを構成する個人である。人の心を動かす力は必ずしも技術的・金銭的なインセンティブだけではなく、アートや思想に強く息づいている。エコデザインを社会実装するにはこうした異分野とも協調することが重要との認識に基づいて、本大会テーマを掲げた。さらに、近年はCPS(Cyber-Physical System)やDX(Digital Transformation)の進展により、消費者行動や製品使用段階の履歴データ等、製品ライフサイクルに関するデータ取得・活用が可能になってきており、欧州のサーキュラーエコノミーのような経済政策も相まって、現実のデータに基づくライフサイクル設計・マネジメントの具体的な議論が必要になってきたとの認識もある。

本シンポジウムでは、基調講演やオーガナイズドセッションを企画するとともに、幅広いテーマで様々な企画セッションや一般講演を予定している。これらの企画を通じて、広く大学、企業の研究者ならびに公共団体関係者が集い、エコデザイン関連分野の研究成果を討論し情報を交換することは、エコデザイン推進のために大変意義深いものと考えている。

シンポジウムの概要

会期:2021年12月1日～12月3日

開催形式:オンライン

主催:エコデザイン学会連合

事務局:大阪大学大学院工学研究科 機械工学専攻 小林研究室内 EcoDesign2021 事務局

協力:Electronics Goes Green、Care Electronics

組織委員長:梅田 靖(東京大学)(主催団体エコデザイン学会連合幹事)

組織副委員長:Nils F. Nissen (Fraunhofer IZM, Germany)、Bernd Kopacek

(Austrian Society for Systems Engineering and Automation, Austria)

実行委員長:小林英樹(大阪大学)

副実行委員長:原圭史郎(大阪大学)、山末英嗣(立命館大学)

プログラム委員長:福重真一(早稲田大学)

スケジュール概要

Call for Papers 配布:2020年9月

論文募集締切:2021年4月

最終論文提出締切:2021年9月

EcoDesign 2021 開催:2021年12月1日～12月3日

プログラム概要(予定)

開催日:2021年12月1日～3日

開催時間:15:00～21:00(JST)

発表形式:オンライン

基調講演:3～4件

一般講演:3パラレル(Organized Sessionを含む)

1セッションあたりの時間配分:プレゼン10分×4件,最後に質疑20分

12/2に2時間のポスターセッション(+ネットワーキング)を設ける予定

問い合わせ先

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1

大阪大学大学院工学研究科 機械工学専攻 小林研究室内

EcoDesign2021 事務局 高橋裕香里

電話 (06)6879-7260

E-mail: ecodesign2021_secretariat@ecodenet.com